

## 新聞広告に見る博文館の出版物

### Hakubunkan's publications as seen in newspaper advertisements

#### 1. 博文館最初の出版物

『日本大家論集』 立看板



1887(明治20)年6月15日発行。

『博文館五十年史』によると、雑誌

『日本大家論集』宣伝のために、浅草雷門、上野公園前、万世橋詰、日本橋詰、両国橋詰、京橋詰、新橋停車場等に図のような看板を設置した。当館所蔵資料は第6版(明治21(1888)年2月25日発行)。

#### 2. 『紅葉全集』全6巻

『万朝報』明治37(1904)年

1月23日4面



明治36(1903)年10月30日尾崎紅葉が逝去した。博文館の編集者の多くは、紅葉等が発足させた文学結社

けんゆうしゃ

「硯友社」に関わりがあったことから、遺稿を集めて『紅葉全集』6巻を編んだ。

#### 3. 『日露戦争実記』創刊広告

『万朝報』明治37(1904)年

2月20日4面



日露戦争開戦直後の明治37(1904)年2月から明治38(1905)年12月まで発行していた雑誌。全110冊。

#### 4. 「明治卅九年の大展望

博文館十大雑誌」

『万朝報』明治38(1905)年

12月28日4面



日露戦争も終わり、お正月を迎えるにあたり、宣伝された発行雑誌。

明治39(1906)年1月に創刊される

『幼年画報』も含まれている。

なお、広告に掲載された雑誌のうち、創刊号があるものについてはこれを紹介した。

5. 『文章世界』創刊広告  
『万朝報』  
明治39(1906)年  
3月14日 4面

投稿雑誌としての役割を果たしていた  
『中学世界』への投稿原稿があまりにも  
多いため、その受皿として創刊された雑誌。



6. 『農業世界』創刊広告  
『万朝報』  
明治39(1906)年  
3月23日 4面

農業、林業、牧畜、養蚕、水産等に関  
する論説、記事をまとめて掲載した  
雑誌。



7. 子供向け雑誌の広告  
『万朝報』大正8(1919)年  
12月18日 1面

『少年少女譚海』『少年世界』『少女世界』  
3誌の正月号を宣伝。



8. 『新青年』創刊広告  
『万朝報』大正8(1919)年  
12月22日 1面

国内外の探偵小説を紹介する等、当時最先端の  
情報を発信し、人気を博した雑誌。



9. 大衆雑誌の広告  
『万朝報』大正9(1920)年  
1月12日 1面

『講談雑誌』『ポケット』は娯楽小説  
が掲載され、気軽な読物が読めること  
で親しまれた。



10.大人向けの雑誌広告  
『万朝報』大正9(1920)年  
1月25日1面



『少女画報』は成人女性を対象とした啓蒙的論説や、小説が掲載された雑誌。  
また『寸鉄』は青年を対象とした社会改造、生活改造に関する論説を掲載した総合雑誌。

11.『新趣味』創刊広告  
『万朝報』大正10(1921)年  
12月28日1面



海外推理小説が掲載された推理小説雑誌。

12.『野球界』広告  
『東京日日新聞』大正12(1923)年  
12月31日1面



当時人気のあった大学野球をはじめ、様々なスポーツを紹介した。

13.『朝日』創刊広告  
『東京日日新聞』昭和3(1928)年12月4日2面  
『東京日日新聞』昭和3(1928)年12月5日3面

政治家の寄稿、社会問題に関する論説、スポーツ記事、江戸川乱歩、菊池寛等が執筆した小説が掲載された総合雑誌。編集部員に女性も任用された。

昭和3(1928)年10月7日には、博文館員一同で、『朝日』創刊の成功祈願のため日光東照宮に参拝した。



14. 『探偵小説』創刊広告

『東京日日新聞』昭和 6(1931)年

8月7日 1面

昭和 5 年 6 年の頃は探偵小説が流行していた時期であったことから、創刊された。



15. 『新少年』広告

『東京日日新聞』

昭和 10(1935)年

4月10日 1面



『新青年』よりも年下の世代に向けて発行された雑誌。